

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日 平成 22 年 4 月 12 日

Table with columns for '事務事業名' (School staff appointment), '区分' (Implementation plan, future projects, etc.), '事務事業No.' (31229011), '課内No.' (11), '政策体系' (Policy system), '予算科目' (Budget item), and '法令根拠' (Legal basis).

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

各小中学校に学校用務員を配置し、学校用務の円滑化を図る。(業務の内容)臨時用務員の任用業務、毎月の勤務日数確認、毎月の賃金支払い業務(臨時学校用務員数) 小学校6名、中学校2名(賃金等)1日5時間勤務 賃金 時給775円

(1) 事務事業の目的

Table with 4 main rows: ①手段, ②対象, ③意図, ④結果. Each row includes specific details and corresponding activity indicators (e.g., ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標) with units.

(2) 指標値の推移

Table showing the trend of indicator values from 18th to 23rd fiscal years. Columns include '区分' (Indicator type), '単位' (Unit), and years 18-23. Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, and ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing the trend of input volume (cost) from 18th to 23rd fiscal years. Columns include '区分' (Category), '単位' (Unit), and years 18-23. Rows include '事業費' (Cost) and '人件費' (Personnel cost).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 学校用務の円滑な実施のため。当初は、市職員を採用し配置していたが、市職員が退職した後補充を臨時職員で対応している。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市職員と臨時職員の勤務時間差の見直しについて

事務事業名	学校用務員任用事業	事務事業No.	31229011	所属課	
-------	-----------	---------	----------	-----	--

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 学校教育環境の整備・義務教育の充実の点から整合性がある。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 学校教育環境の整備・義務教育の充実の点から整合性がある。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 小中学校を対象としており、妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 現在の状況で成果は上がっている。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 現在の用務員の仕事を教職員がすることにより、教育に対する時間が割かれる。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> ⇨ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に類似事業はない <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 最小必要限の勤務時間なので削減の余地がない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 最低限の勤務時間なので人件費の削減余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 義務教育の一環であり、受益者負担は公平である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 学校教育環境の整備から、学校用務員が必要である。現在市採用学校用務員と臨時用務職員により配置している。経費削減を図るとすれば、全校臨時職員とすることが必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策 																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/> 未
(3) 2次評価における改革改善案 	(4) 2次評価における指摘事項